

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告 当社ホームページ（下記URL）に掲載 http://www.jti.co.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人 同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-707-696 (受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
お問い合わせ先 郵便物送付先	住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル(0120-86-4490)で24時間承っておりますので、ご利用ください。
同取次所	
各種手続用紙のご請求	



Welcome to

the Delight World

Vol.15



業績報告書

CONTENTS

2007年3月期(2006年度)中間決算のご報告

この人に煙草あり。／池波正太郎

特集

● 食品事業のご紹介

TOPICS

- 『JT社会・環境報告書2006』を発行
- たばこ新製品5銘柄を地域限定発売、1銘柄を拡販

ニュース掲示板

JT商品のご案内

- ルーツ「リアルブレンドインスピレーション」 好評発売中
- ルーツ「アロマブラックホットブレンド」 好評発売中
- 「お弁当大人気!」シリーズ「ミニスコッチエッグ」 好評発売中
- 「いまどき和膳」シリーズ「五種の野菜と豆腐の和風ハンバーグ」 好評発売中

株式の諸手続きについて

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

電話：03-3582-3111

<http://www.jti.co.jp/>



この業績報告書はエコマーク認定の再生紙(古紙100%)を使用するとともに、大豆油インキを使用しています。





ご
あ
い
さ
つ

株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。

2007年3月期の中間決算は、国内たばこ事業における
販売数量減による利益減少影響を、
定価改定に伴う販売単価の上昇及びコストの減少等によって克服し、
6期連続の増益を確保することができました。
この結果を受け、国内たばこ事業を中心として、業績予想を上方修正し、
2007年3月期は、前年を上回る利益水準を目指します。
今期については、7月からの増税という問題もありましたが、
大きな混乱もなく乗り切り、中期経営計画「JT2008」の経営目標達成に向けて、
順調なスタートが切れたものと考えています。

株主の皆様におかれましては、当社の事業運営につきまして、
より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2006年11月
代表取締役社長

木村 宏

2007年3月期（2006年度） 中間決算のご報告

2007年3月期（2006年度）中間決算の概要

2007年3月期（2006年度）中間決算は表1をご
覧いただくとおり、増収増益となりました。

売上高を事業別に見ると、国内たばこ事業は、
本年7月からのたばこ税増税に伴い、販売数量
が対前年比で大きく減少したこと等により、減
収となりました。海外たばこ事業は、グローバ
ル・フラッグシップ・ブランド（「キャメル」、
「ウィンストン」、「マイルドセブン」、「セーラム」、
以下「GFB」）販売数量の伸張により、増収と
なりました。また、医薬事業は減収となりまし
たが、これは主に昨年度の第1四半期にJTK-
303（抗HIV薬）の導出に伴う一時金を計上し
ていたことによるものです。食品事業は、飲料
事業における自動販売機販路の拡大及び「ルー
ツ」の順調な伸張に加え、加工食品事業におけ

る冷凍加工食品を中心とした事業規模の拡大に
よって、増収となりました。この結果、当中間
期の税抜売上高は、前年同期比136億円増収の
10,223億円となりました。

営業利益に関しては、主に国内たばこ事業に
おいて、増税による販売数量減少の影響を、定
価改定に伴う販売単価の上昇及びコストの減少
等により克服し、前年同期比125億円増益の
1,778億円となり、経常利益とともに6期連続の
増益となりました。

また、中間純利益は経常利益の増加及び特別
損失の改善を主因として、前年同期比216億円
増益の1,226億円となり、3期連続の増益とな
りました。いずれの指標についても中間期の過去
最高益を更新しました。

■表1 2007年3月期（2006年度）中間決算

（単位：億円）

	2005年度中間決算実績	2006年度中間決算実績	増減
税込売上高	23,468	23,776	307
税抜売上高	10,086	10,223	136
EBITDA ^(注)	2,276	2,423	146
営業利益	1,652	1,778	125
経常利益	1,583	1,772	188
中間純利益	1,010	1,226	216

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費

各事業の概要

国内たばこ事業

国内たばこ事業については、本年7月の増税の影響を受け、国内総需要及びJT製品販売数量は減少しました。図1をご覧くださいと、対前年の減少率は、厳しさを増す喫煙環境等を主因に、2003年7月の増税時と比べ、若干拡大しました。一方、図2をご覧くださいと、シェアについては、従来同様の傾向が続いています。

マイルドセブンについては、増税分以上の値上げを行いました。強いブランド力を背景として、シェアは安定的に推移しており、現時点では、他社との競争に大きな変化は生じていません。

価格面においては、図3にありますように、今回の定価改定におけるマイルドセブン等の値上げにより、当社の税抜単価は、大きくその水準を高めることができました。



マイルドセブン・ボックス

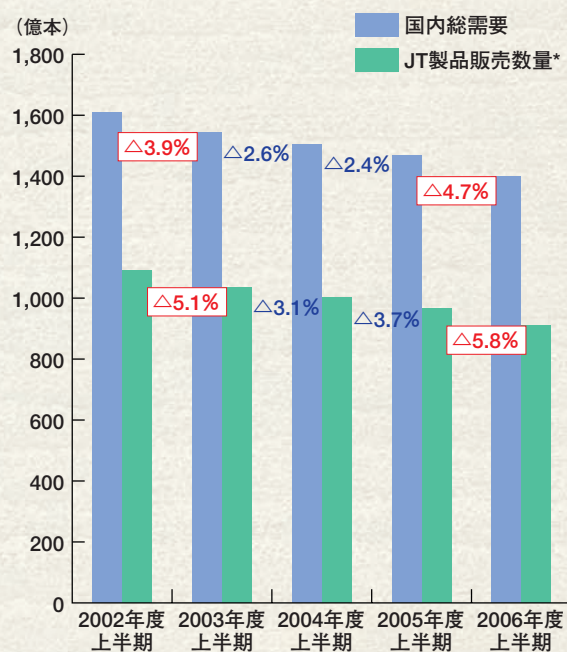


マイルドセブン・ライト・ボックス



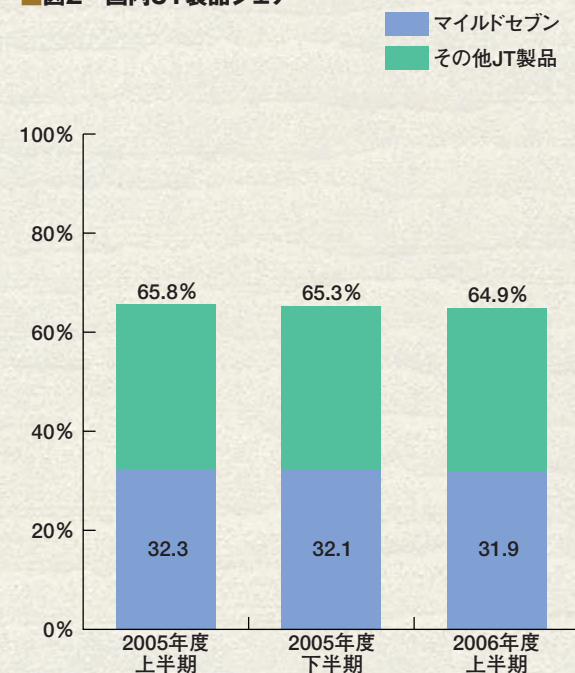
マイルドセブン・スーパーライト・ボックス

■図1 国内総需要とJT製品販売数量

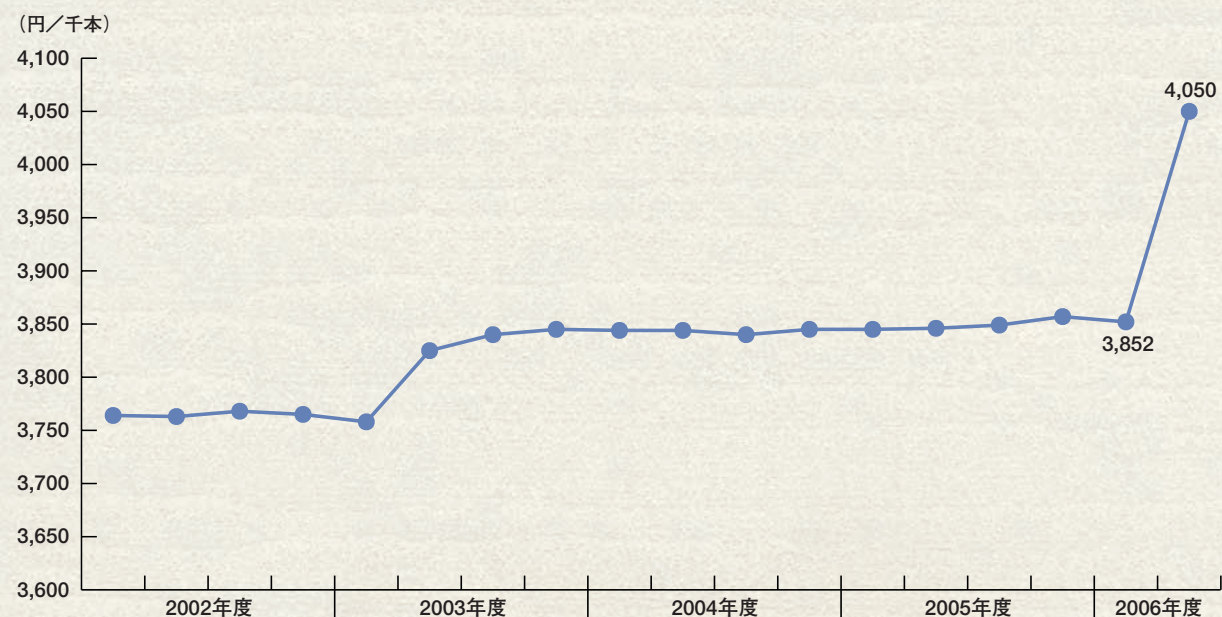


*新ベース＝JTオリジナルブランド＋JTの国内向け製品（キャメル・ウinston・セラム等）

■図2 国内JT製品シェア*



■図3 JT製品の千本当税抜売上高*



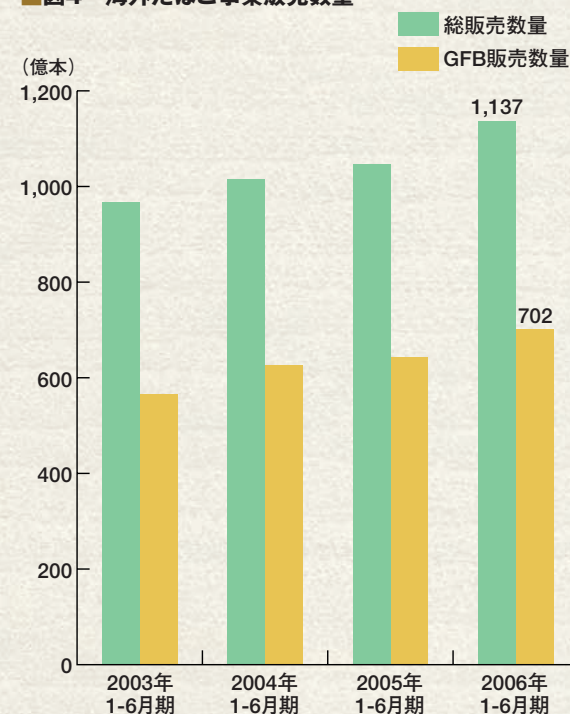
*新ベース＝JTオリジナルブランド＋JTの国内向け製品（キャメル・ウinston・セラム等）

海外たばこ事業

海外たばこ事業の2006年1-6月期の総販売数量は、利益成長を主眼に注力しているGFBが好調に推移したことを主要因に、8.7%の増加となりました。GFB販売数量は、「キャメル」がイタリア、フランスで、「ウinston」がスペイン、イラン、ロシア、イタリア、ウクライナで、「マイルドセブン」が台湾、ロシアで伸張したこと等から9.1%の増加となりました。

※海外たばこ事業は2006年1-6月期を連結

■図4 海外たばこ事業販売数量



2007年3月期（2006年度）業績予想

2007年3月期（2006年度）の業績予想については、当初見込と比較して、増税に伴う単価上昇効果等により国内たばこ事業の利益を上方修正したことを主因として、EBITDA（営業利

益＋減価償却費）、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正し、いずれにおいても、過去最高益を更新する見込です。

■表2 2007年3月期（2006年度）業績予想

（単位：億円）

	2005年度実績	2006年度業績予想 中間時見込	増減	2006年度業績予想 当初見込
税込売上高	46,376	47,700	1,323	47,700
EBITDA ^(注)	4,333	4,440	106	4,090
営業利益	3,069	3,080	10	2,700
経常利益	2,978	3,100	121	2,670
当期純利益	2,015	2,060	44	1,790

(注) EBITDA＝営業利益＋減価償却費

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主な

ものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

医薬事業

医薬事業については、開発品目中、第1四半期においてステージアップをしたものが1品目、国内開発中で海外でも開発を開始したものが1品目、新規の臨床入りが1品目ありました。

また、この第2四半期においては、国内で開発中の糖尿病治療薬「JTT-551」を海外でも開発開始するなど、開発品の着実なステージアップとR&Dパイプラインの充実を図り、中期経営計画「JT2008」の事業目標に沿った取り組みを推進しています。

■医薬事業 臨床開発品目（2006年10月31日現在）

開発名	開発段階	適応症	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase1	脂質代謝異常	HDL(高密度リポ蛋白：善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社と日本・韓国を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結(2004年10月)
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	高脂血症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンシズ社と日本を除く全世界の開発・商業化権を導出するライセンス契約を締結(2005年3月)
JTT-302 (経口)	海外：Phase1	脂質代謝異常	HDL(高密度リポ蛋白：善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase1	2型糖尿病	インスリンシグナル伝達を負に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTT-552 (経口)	国内：Phase1	高尿酸血症	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	

前回(2006年7月31日)公表時からの変更点：JTT-551 海外臨床入り

食品事業

食品事業については、飲料事業における自動販売機販路の拡大、および「ルーツ」の順調な伸張に加え、加工食品事業における冷凍加工食品を中心とした事業規模の拡大により、増収となりました。

また、収益面においても、事業規模の拡大、および効率的な経費執行に伴う固定費の削減により、増益となりました。



ルーツ
「アロマブラックボトル」



「彩和膳」シリーズ
天ぷら盛りあわせ

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	前年度末 (2006年3月31日現在)	当中間期末 (2006年9月30日現在)	増減金額
資産の部			
流動資産	1,608,154	1,877,778	269,624
固定資産	1,429,180	1,384,897	△ 44,283
有形固定資産	596,544	592,239	△ 4,304
建物及び構築物	238,049	230,884	△ 7,165
機械装置及び運搬具	144,604	141,042	△ 3,562
土地	138,671	134,639	△ 4,032
その他	75,217	85,673	10,455
無形固定資産	579,519	549,782	△ 29,736
連結調整勘定	355,183	—	△ 355,183
のれん	—	349,736	349,736
商標権	190,587	170,047	△ 20,540
その他	33,748	29,999	△ 3,749
投資その他の資産	253,117	242,874	△ 10,242
繰延資産	44	31	△ 13
資産合計	3,037,378	3,262,706	225,328

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
科 目	前年度末 (2006年3月31日現在)	当中間期末 (2006年9月30日現在)	増減金額
負債の部			
流動負債	626,355	804,532	178,177
固定負債	590,950	544,370	△ 46,580
負債合計	1,217,305	1,348,903	131,597
少数株主持分			
少数株主持分	57,561	—	△ 57,561
資本の部 ◀			
資本金	100,000	—	△ 100,000
資本剰余金	736,400	—	△ 736,400
利益剰余金	972,511	—	△ 972,511
その他有価証券評価差額金	35,531	—	△ 35,531
為替換算調整勘定	△ 7,353	—	7,353
自己株式	△ 74,578	—	74,578
資本合計	1,762,511	—	△ 1,762,511
負債、少数株主持分及び資本合計	3,037,378	—	△ 3,037,378
純資産の部 ◀			
株主資本	—	1,839,545	1,839,545
評価・換算差額等	—	11,199	11,199
少数株主持分	—	63,058	63,058
純資産合計	—	1,913,803	1,913,803
負債及び純資産合計	—	3,262,706	3,262,706

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表等規則等の改正に伴い、従来「連結調整勘定」と表示していた勘定項目を「のれん」に変更しています。

商標権の主な内容は、RJRインターナショナル（現JTインターナショナル）取得時にあわせて取得した CAMEL、Winston、Salem といったグローバル・フラッグシップ・ブランドの商標権です。

主に未払たばこ税が増加したためです。

本年5月より施行された「新会社法」で貸借対照表の「資本の部」が廃止され、代わりに「純資産の部」が新設されました。

連結損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前中間期 (2005年4月1日から 2005年9月30日まで)	当中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	増減金額
売上高	2,346,865	2,377,625	30,759
売上原価	1,883,197	1,918,387	35,189
売上総利益	463,668	459,237	△ 4,430
販売費及び一般管理費	298,396	281,393	△ 17,003
営業利益	165,272	177,844	12,572
営業外収益	4,991	10,913	5,922
営業外費用	11,882	11,482	△ 399
経常利益	158,381	177,275	18,894
特別利益	37,939	32,593	△ 5,345
特別損失	33,783	8,414	△ 25,369
税金等調整前中間純利益	162,537	201,454	38,917
法人税、住民税及び事業税	59,397	76,336	16,939
法人税等調整額	—	—	—
少数株主利益	2,139	2,464	325
中間純利益	101,000	122,653	21,653

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内たばこ事業、医薬事業が減収となったものの、海外たばこ事業、食品事業が増収となったことから増収となりました。

主に国内たばこ事業において、本年7月からのたばこ税増税に伴う販売数量減による利益減少影響を、コスト削減、販売単価増によって克服し、増益を確保しました。

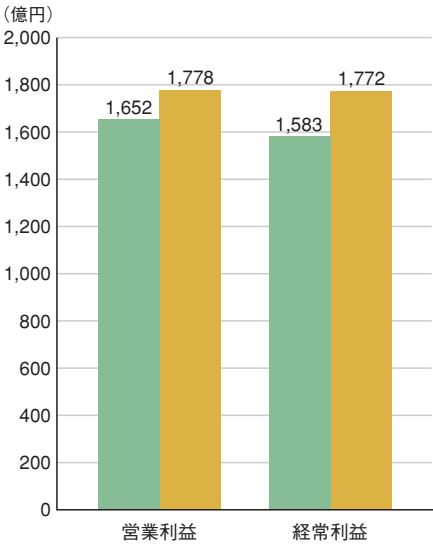
主に市場金利上昇に伴い、受取利息収入が増加したこと、及び為替差益が増加したことによるものです。

固定資産売却損が減少したことを主因として、特別損益が改善しました。

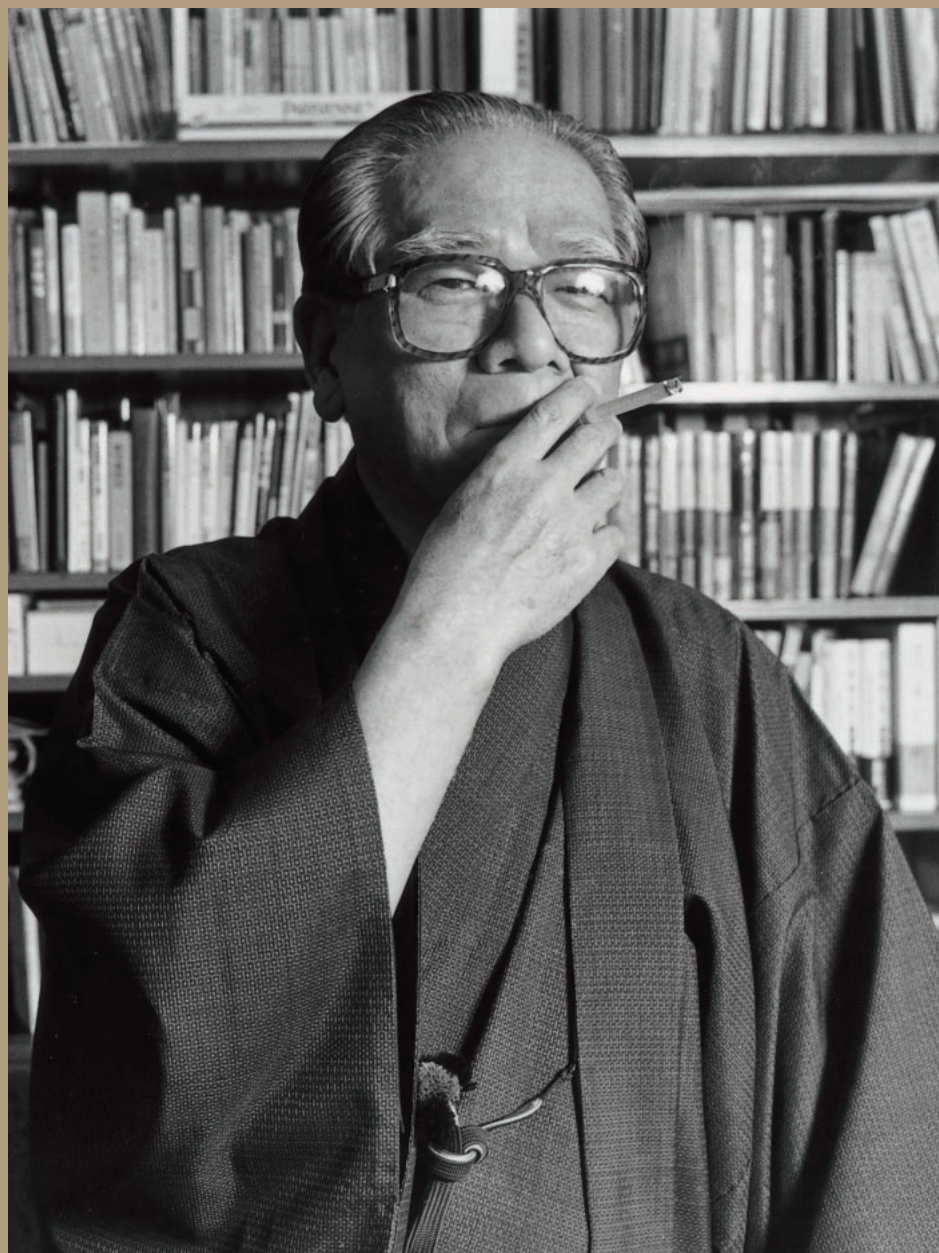
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)			
科 目	前中間期 (2005年4月1日から 2005年9月30日まで)	当中間期 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,246	265,062	209,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,929	△ 293,227	△ 299,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,692	△ 6,450	14,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,523	△ 1,443	△ 5,966
現金及び現金同等物の増減額	45,006	△ 36,059	△ 81,065
現金及び現金同等物の期首残高	829,087	920,141	91,054
現金及び現金同等物の中間期末残高	874,094	884,082	9,988

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



2005年度中間期 2006年度中間期



池波正太郎

「チェリー」が好き、 だがパイプも葉巻も吸った

池

波は「ゴールデンバット」に始まり、「敷島」、「朝日」、「エアーシップ」、「チェリー」など、とにかくたばこは縁が切れない日々だった。

なかでも好きだったのが、「チェリー」。「チェリー」はいまだ現役のたばこだが、池波が吸っていたのはもちろんいま販売されているチェリーとは味もパッケージも違う。彼によるとチェリーのうまさは格別だったらしい。バージニア葉の少し甘口がいたくお気に召していたようだ。わが国のたばこ愛好者の「缶入りの両切ピースがいちばんうまい」という言葉を軽く聞き流し、「チェリーのうまさは、ピースどころじゃない」と言うのである。しかし、だからといってチェリーにこだわり続けないのも池波の「たばこ美学」であろうか。紙巻以外にも、たばこであれば何にでも手を出した。

まず煙管。これは池波の小説が時代物だから、作中の必需品でもあった。とくに芝居には欠かせない小道具で、イライラしているときなど、煙管の扱いで

役者の気分が一発で表現できる。だから、あの長谷川平蔵の「亡父遺愛の銀煙管」は、なくてはならない傍役なのである。それに煙管を主人公に一服吸わせるのは、実は作者自身が一服したいからで、それが次の展開への「間」になると言う。

小説もそう読めば、主人公が一服つけるとき、「ああ、作者も吸いたいのだな」と、たばこはまた別の味わいが感じられるかもしれない。

葉巻もパイプもやった。パイプを手にするようになったのは、紙巻たばこの味が、時に物足りなくなったからだ。コレクターではなかったのに、何がいい、かにがいい、なぞとパイプを集めなかったが、いつの間にかけっこうなコレクションになっていたらしい。

池波によれば、葉巻もパイプも吸って似合うというタイプがあるそう。太って貫禄のある男性が似合うのであり、痩せて色白の男が吸っても滑稽なだけである。パイプにしても色白痩せすぎはどうもいただけないと

いった意見を述べている。「馬子にも衣装」とは言うが、「優男に葉巻、パイプ」とはいかないのである。

どうやら、葉巻とパイプは人を選ぶと思っておいたほうが無難なようだ。池波本人も、自分が葉巻をやるとマフィアの代貸に見えるらしいと言っていた。親分に見えると言わないだけ奥ゆかしいが、その実、「葉巻が似合わない」とは言っていないのがミソである。

ところで、池波正太郎は「たばこほど無駄なものはないけどもね。無駄のように見えるものを、どこまで許容し得るか……それが文化でしょう」と、あるインタビューで語っている。けれど、「文化」の本質を鋭くつく言葉だ。

食べ物とは違う。直接に生きる糧とはならないものにこそ、人間が人間として存在するための炎が揺らめいているように思うのだが……。たかがたばこ、されどたばこである。

『グレート・スモーカー 歴史を変えた愛煙家たち』(祥伝社新書)より一部転載
写真提供 新潮社

Shotaro Ikenami
(1923年 - 1990年)

1960年 『錯乱』で第43回直木賞受賞
1972年 『殺しの四人』で第5回小説現代ゴールデン読者賞
1977年 『市松小僧の女』で第11回吉川英治文学賞・第6回大谷竹次郎賞
1986年 紫綬褒章
1988年 第36回菊池寛賞

池波正太郎——小説家。1960年『錯乱』で直木賞を受賞。
その他『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』の三大シリーズなど、多くの時代物で人気を博している。

食品事業のご紹介

食品事業の基本理念は「一番大切な人に食べてもらいたい」。
飲料・加工食品・調味料を柱とする総合食品メーカーとして、
お客様が求める新しい価値を生み出すことを目指しています。

中期経営計画「JT2008」食品事業の方向性

食品事業は、総合食品メーカーとしての基盤を確立することを目指します。具体的には、柱事業として、2008年度連結売上高営業利益率3.5%以上を目指します。基本戦略として、食品事業全体における、原料調達、研究開発、商品開発などの分野での競争力を強化し、競争優位性を確立することに加え、事業横断的なシナジーを発揮できる体制を目指します。また、更なる収益力ある成長に向けたM&Aの推進にも積極的に取り組んでいきます。

さらなる価値創造に取り組む

飲料事業

飲料事業では、コーヒーの「Roots(ルーツ)」を基幹ブランドとして、独自技術に裏打ちされた差別性とクオリティにこだわった商品を継続的に市場に投入してきました。また、自動販売機オペレーター子会社である(株)ジャパンビバレッジ等を中心として、事業規模も着実に拡大してきました。今後とも商品の研究・開発に注力し、新しい価値の創造・提供に向けて積極的に取り組んでいきます。



ルーツ「アロマブラック」300gボトル缶
ルーツ「リアルブレンド」インスピレーション
「GABA COOL WATER」

インスピレーションクイズ (商品裏面に展開中)

【問題】
計算が間違ってる？
でも鉛筆を1本動かせば、あら不思議。
正しい式に変身します。

※答えは16ページをご覧ください。



いつでも好きなときにJTの飲料商品をお買い求めいただけます。
JTオンラインショップ URL <http://www.shopjt.com/>



安全・安心な原料を軸に、 研究・開発力を活かした商品を展開する 加工食品事業

加工食品事業は、冷凍加工食品、ベーカリー、チルド加工食品など幅広い分野に展開を図り、順調に事業規模を拡大しています。冷凍加工食品の分野では、多彩なメニューを取り揃えた「お弁当大人気！」シリーズをはじめ、和食の「いまだき和膳」シリーズ、冷凍野菜の「グリーンジャイアント」シリーズ等、さまざまなジャンルで豊かな食生活に貢献しています。また、ベーカリーの分野では、(株)サンジェルマンを中心として、お客様により一層の「焼き立て感」をお届けするため、自社技術を活用した付加価値の高いパンの開発・販売を進めています。さらに、ハム・ソーセージ等のチルド加工食品の分野では、豪州を中心に事業基盤を強化・拡大しています。今後とも、それぞれの分野において、トレーサビリティのある安全・安心な原料を基軸としつつ、自社の研究・開発力を活かした価値ある商品の展開を図っていきます。



「お弁当大人気!」シリーズ
「ふっくらオムレツ」



「いまだき和膳」シリーズ
「れんこんはさみ揚げ」



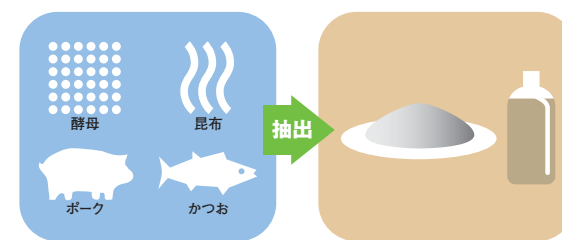
「あざりと筍ごはん」



サンジェルマン「エクセルブラン」

天然素材調味料へのシフトに取り組む 調味料事業

調味料事業は、天然素材由来の調味料事業の基盤強化・拡大を図りつつ、顧客のニーズに応える組立型調味料の開発を進めています。具体的には、自社独自の技術で開発した高付加価値酵母エキスやトレーサビリティのある優良原料



を使用した昆布・カツオ・ポークなどの抽出エキスの生産、拡販に注力しています。今後とも、天然素材調味料へのシフトが時代の要請であるものと認識し、これに向けた取り組みを積極的に進めていきます。



技 術

●本物の味わいを持ったおいしい製品をお届けするために

どんな場面でも 本当においしいコーヒーを

「ルーツ」は、「レギュラーコーヒーの味わいに近い缶コーヒー」をご提供するため、コーヒー豆のプロであるキーコーヒー(株)と提携して立ち上げたブランドです。コーヒー本来の「コク、キレ、アロマ」を最大限に引き出すため、さまざまな独自技術を商品づくりに取り入れています。殺菌時間を短くして風味の劣化を抑える



ルーツ
「リアルブレンドインスピレーション」



お客様に長く親しんでいただける メニューを目指した商品開発

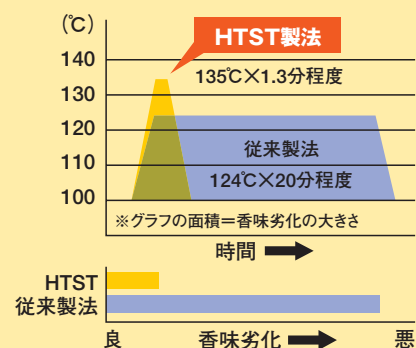
JTの冷凍加工食品事業では、冷凍食品でありながら手づくりの作りたての美味しさを実現し、お客様にいつでもおいしくて高品質の商品を味わっていただけるよう、技術開発を続けています。「ミニ春巻」ではレンジ調理後もパリパリとした皮、「天ぷら盛りあわせ」ではレンジ調理で



若鶏の竜田揚げ

「HTST(High Temperature Short Time) 製法」(特許出願中) や、抗酸化作用を持つJT独自の乳素材「ラクトJ」シリーズ(特許出願中)もその一つです。「どんな場面でも本当においしいコーヒーを」をキーワードに、日々研究開発に取り組んでいます。

殺菌条件と香味劣化の関係(当社比較)



もおいしい衣、そして、「若鶏の竜田揚げ」では、素材本来の味を生かす調理法や、粉を吹いた竜田揚げ独特の衣など、より本物の味の実現に向けて、研究・改良を重ねています。



調理例

品 質

●より安全で安心な製品をお届けするために

自社農場・工場での 一貫管理

JTでは、中国上海市崇明島に専用農地、自社生産工場を保有し、冷凍野菜を製造しています。駐在社員による徹底した栽培管理、品質管理、専用品種の選定など、栽培から加工・輸入・販売までを一貫管理できる体制を確立しています。JTの製品に不適切な農薬の侵入を防ぐために、1.栽培農場の土壌・用水検査、2.使用農薬管理の

残留農薬検査に加え、外観や味などの確認も行います



異物が入らないようにチェックします

原材料の アレルギー物質の表示

2006年春より、市販用冷凍食品では、お客様に情報を正確に把握していただけるよう、表示義務のある重要な内容については文字の大きさや色などに工夫をするとともに、厚生労働省が定めた25品目を対象とした原材料のアレルギー物質表示も分かりやすく表示をしています。

おいしくて、安全・安心なJTの冷凍野菜。
栽培から加工までの様子や各冷凍野菜商品について、
JTのホームページでご紹介しています。

URL <http://www.jti.co.jp/food/ggdayori/index2html>

徹底指導、3.工場と日本での二重の残留農薬検査を実施しており、検査に合格した製品のみを輸入販売しています。また、商品パッケージに農場記号を記載し、農場記号と賞味期限から栽培履歴が分かるようデータベース化しています。このように、冷凍野菜の「グリーンジャイアント®」シリーズを通じて、お客様に「おいしさ」とともに「安全・安心」もお届けしています。

トレーサビリティ

商品パッケージの農場記号を記載

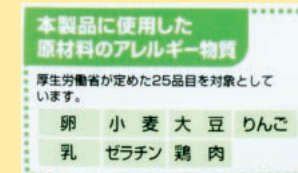
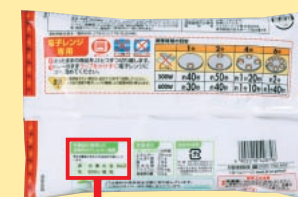
賞味期限、農場番号から栽培農場はもちろん、農場ごとの種まきから収穫までの栽培履歴や管理者まで、すぐ分かるようにデータベース化されています。



グリーンジャイアント®
「カットほうれん草」



賞味期限 2007.6.7
農場記号 B12220L5B



商品パッケージでの「原材料アレルギー物質表示」

環境

●環境への取り組み

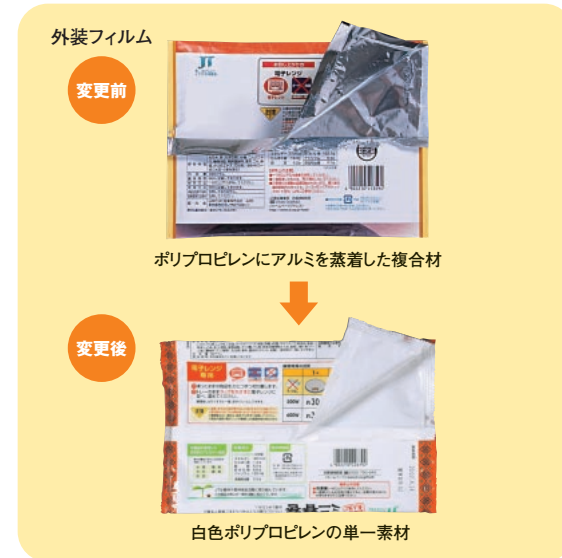
冷凍食品包装材の改善 (廃棄時の配慮と軽量化)

JTでは、商品設計の段階から、環境に配慮した商品をお客様に提供したいと考えています。容器包装資材の環境対応化はその取り組みの一つです。冷凍食品の外装フィルムでは、リサイクル性向上と、分別性向上を目的とし、2002年2月より、ポリプロピレンにアルミ蒸着した複合素材から、白色ポリプロピレンの単一素材へ切り替えを実施しています。同時に安全性確保を



内部トレー

前提にシール強度も抑え、開封性も向上しました。また内部トレーの軽量化も実施しています。一例として、2005年度に軽量化を実施した「ミニ春巻」シリーズは年間約11tの樹脂使用量低減を達成しています。



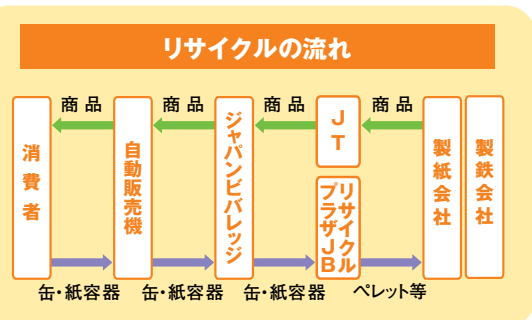
リサイクルの 取り組み

(株)ジャパンビバレッジとJTが共同で、2003年5月に竣工した飲料容器の中間処理施設「リサイクル・プラザJB」も設立後3年を経過しました。業界に先駆けた取り組みとしてのウエステック大賞・事業活動部門、さいたま環境賞な

どを受賞しました。ここでは、アルミ缶やスチール缶を熱処理して造粒化し、それぞれの純度の高いペレットを生産しています。また、最近ではペットボトルが増えたことに対して圧縮機を増設し、リサイクル中間処理をしています。



リサイクル・プラザJB
URL <http://www.jbinc.co.jp/ecology/plaza.html>



工場見学へGO

お弁当大人気!
ミニ春巻ができるまで



1 原料の選別と受け入れ。

皮の原料となる小麦粉、具の原料となる豚肉やたけのこ、キャベツなどの野菜はまず鮮度や風味を確認し、金属探知機を使って、異物が混ざっていないかどうか検査します。検査に合格した原料だけを使います。

こちらは、具のたけのこのこです。異物を確認しながら、食べやすい短冊切りにカットしていきます。

2 春巻の具を作ります。

食べやすい大きさにカットした豚肉や野菜を、醤油やオイスターソースで味付けしながら炒め合わせます。

大きな釜で具を炒めます。シャキシャキとした具の食感を出すために、野菜の炒める順番や、炒める時間を工夫しています。

3 春巻の皮を焼きます。

小麦やでん粉で均一に混ぜ、薄くのばして皮を焼きます。

おいしい春巻はパリッとした皮が決め手! 小麦粉の種類や混ぜる割合などに、おいしさの秘密がぎゅっと詰まっています。こちらは、小麦粉がしっかりと混ぜ合わされ、なめらかな状態。これからパイプを通して、皮焼き機に供給されます。

こちらは春巻の皮を焼く機械です。まるで紙のように薄く焼くことができます。

4 具を皮で巻きます。

機械で具を打ち出し、皮で巻きます。

薄い皮は破れることなく、まるで人のようににぎにぎにきれいに巻けるんですよ。機械で巻かれた春巻は、ベルトコンベヤーによって、次の工程に向かっていきます。

5 油で揚げます。

油の層に春巻を順序良く泳がせながら揚げっていきます。油の層から上がった春巻は、香ばしくこんがりとした姿です。

揚げたての湯気がたっている春巻です。揚げ油の温度や、揚げ時間の長さなど微妙な調整は欠かせません。

6 冷凍します。

揚げたての春巻を検査し、検査に合格したものをトレーに詰めて、急速冷凍します。

皮の割れや焦げなどを検査し、合格したものだけをトレーに詰め、急速冷凍庫に送り出します。

冷凍庫は-45℃の世界! 急速冷凍庫で一気に冷凍され、冷凍庫からできた春巻です。

7 検品・包装・箱詰

冷凍庫から出てきた春巻を金属探知機、X線探知機で異物が入っていないかの確認と重量検査をしながら、手早く包装、箱詰をします。

手早く包装、箱詰! ほんの数秒で、箱詰されます。

8 -18℃以下の冷凍庫で保管され、冷凍庫でいざ出荷!

-18℃は秘密の数字

-18℃以下で保管された冷凍食品は、品質変化が少なく、おいしさが長持ちします。

※HP「JTグルメWorld」より
<http://www.jti.co.jp/food/factory/index.html>

11ページの問題と答え

その他にも問題に挑戦したい方は、こちらへどうぞ。

ルーツ・オフィシャル・ページ
<http://www.jt-roots.com/>

15

16

『JT社会・環境報告書2006』を発行

～「ものづくり企業JT」としての事業活動と社会・環境のかかわりをより鮮明に～

さまざまな関係者の皆様とコミュニケーションを深めることを目指し、2005年度より『JT社会・環境報告書』を発行しています。今年度は、JT全社の取り組みをわかりやすくお伝えするという基本方針は守りつつ、グループ企業を含めた「ものづくり」の現場レポートをはじめ、写真やイラストを交え、JTの思いをよりよく知っていただけるよう工夫を盛り込んでいます。

本報告書は「第1章 JTグループの経営」「第2章 皆様にDelightをお届けする事業活動」「第3章 地球環境への取り組み」「第4章 社会と共生する「良き企業市民」「良き隣人」として」の4部で構成されています。巻頭では木村社長がJTの社会的責任について理念を語り、また、3事業トップによる「ものづくり企業JT」としての取り組みに関する座談会を掲載しています。

『JT社会・環境報告書2006』は、JTウェブサイト「JT delight world」でもご覧いただくことができます。

URL: <http://www.jti.co.jp/JT/environ/report/report2006.html>



「JT社会・環境報告書2006」

「サイトレポート」

「CSR推進委員会」を発足しました

JTは、すべてのステークホルダーに対し、かけがえないディライト（期待を超える驚き、歓びといった、JTならではの付加価値）を約束・実現していくことを、JTグループミッション「JTブランディング宣言」として挙げています。そして、このJTグループミッションの実現こそが、JTの社会的責任（CSR）の実現に通じるものと考えています。

かねてよりステークホルダーにディライトを提供するために各関係部門において取り組みを続けてきましたが、既存の取り組みをさらに充実させつつ全社的な推進を図っていくことが必

要であることから、昨年7月にCSR推進部を設置し、CSR推進の方向性などを検討してきました。また、今年7月には社内外ステークホルダーから見てより納得性があり実効ある体制とするため、CSR推進部に地球環境への取り組み・社会貢献活動に関する機能を統合する組織再編を行っています。

全社的なCSR推進の方向性を議論する場として、CSR責任者を委員長に、各事業トップがメンバーとして参加する「CSR推進委員会」を10月に発足しました。これに伴い、現行の地球環境委員会はCSR推進委員会に統合されます。

10月2日より、たばこ新製品5銘柄を地域限定発売、1銘柄を拡販

本年5月に策定した中期経営計画「JT2008」では、製品戦略の大筋は前中期経営計画「JT PLAN-V」の路線を踏襲しつつ、新製品投入量については、ポスト「マールボロ」製品育成が急務であった「JT PLAN-V」期間中ほど規模は追求せず、新製品候補を絞り込み、厳選した新製品を発売する形式とします。

「JT2008」初の新製品投入／個性豊かな銘柄群

今回投入する6銘柄は、最近成長が著しいタール1mg、メンソール、高価格帯のいずれかのカテゴリーに属する製品です。また、6銘柄のうち5銘柄は、たばこの気になる"におい"を抑える

という、好評のD-spec技術を採用しています。過去の知見を踏まえつつ、数ある候補の中から個性的で競争力ある製品に絞り込みました。

製品の概要は以下のとおりです。



● 42都道府県

キャビン・ワン・テイスティ・100's・ボックス
フィルター付スーパーキングサイズ
チャコールフィルター
1mg/0.1mg
20本入りハードバック 300円



● 宮城県

キャメル・メンソール・ボックス
フィルター付キングサイズ
プレーンフィルター
8mg/0.7mg
20本入りハードバック 320円



● 神奈川県

さくら
フィルター付キングサイズ
チャコールフィルター
7mg/0.6mg
20本入りハードバック 350円



● 京都府

ピース・インフィニティ
フィルター付スーパーキングサイズ
CVDチャコールフィルター
8mg/0.7mg
20本入りハードバック 350円



● 福岡県

セーラム・アイスブルー
フィルター付キングサイズ
プレーンフィルター
8mg/0.6mg
20本入りハードバック 320円



● 愛知県へ拡販※

ベヴェル・フィーナ・シャインベリー
フィルター付スーパーキングスリムサイズ(以下FSK)
チャコールフィルター
5mg/0.4mg
20本入りFSKボックス(ベヴェル・エッジ仕様) 320円
※すでに新潟県で販売中(2005年7月1日発売)

■ 2007年度「青少年育成に関するNPO助成事業」 10月2日より募集開始

社会貢献活動の一環として、特定非営利活動法人（NPO法人）をはじめとした非営利法人が行う「青少年の育成」につながる事業への助成について、2007年度分を10月2日より募集を開始しました。

JTは、企業として社会の発展に寄与しつつ社会とのコミュニケーションを深めていくことが、JTに対する理解・共感を高めていただけることにつながるものと考え、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。その活動の一環として、地域コミュニティの再生と活性化を推進し、より良い社会を築いていくためには、人材育成、とりわけ次世代の社会を担う「青少年の育成」が重要な課題との認識から、非営利法人が日本国内において実施する事業で、青少年の健全な育成に繋がる事業について助成を行っています。

当NPO助成事業は1999年度からスタートし、これまでの8年間に、延べ624件、総額約7億5千万円の助成実績があります。現在活動中の2006年度事業は、128件の応募の中から決定した、22都道府県の34法人に対し合計4,341万円の助成を行っています。2007年度は、さらに多くの団体の活動を支援するために、1件あたりの助



「NPO法人信州フォレストワーク」の「昭和小学校 学校林プロジェクト」

成上限額は150万円（昨年度は200万円）とし、助成件数は40件程度と約3割（昨年度は当初30件程度を計画）増やすこととしました。

募集は11月20日に締め切り、社外有識者を中心に構成する「NPO助成プログラム推進委員会」での審議を経て、来年3月に決定する予定です。選考にあたっては、青少年育成につながる活動であれば、活動分野は特に限定しませんが、環境美化や環境保全に関する活動を推奨します。

JTは、今後とも、社会的責任ある企業の責務として、継続的に社会貢献活動に取り組んでまいります。



「クーピーファッションアートグループ」が実施した「ビッグアート制作」完成後の集合写真

JT商品のご案内

ルーツ「リアルブレンド インスピレーション」

190g缶／115円
(希望小売価格 消費税別)

好評発売中



- ルーツ「リアルブレンドインスピレーション」を基幹商品として育成すべく、味・パッケージ両面で大幅にブラッシュアップし、リニューアル発売しました。
- 味の改良では、飲む前に鼻から香る「上立ち香」に加え、飲んだ後に口の中から鼻に抜ける「含み香」を強化し、パッケージでは、引き続き光の当る角度によって色が変化する「プリズムレイヤーフィルム」の使用で、フィルムの特性を最大限に引き出した存在感あるデザインにしました。



ひらめきを生む缶コーヒー

「お弁当大人気！」シリーズ 「ミニスコッチエッグ」

6個入 (120g)

好評発売中



- ジューシーな鶏ひき肉はコーン、いんげん、にんじん、たまねぎ入り。半分にカットして、彩りよくケチャップソースをトッピングしました。
- 「お弁当大人気！」シリーズは、バラエティー豊かなラインアップで、個性化、多様化するお客様のニーズにお応えしていきたいと考えています。



うずらの卵のゆでたての美味しさを実現

ルーツ「アロマブラック ホットブレンド」

275gボトル缶／130円
(希望小売価格 消費税別)

好評発売中



- ルーツ「アロマブラック」は、ボトル缶無糖ブラックコーヒーのトップブランドとしてお客様からご好評をいただいています。秋冬に向けてルーツ「アロマブラック」のホット専用バージョン、ルーツ「アロマブラックホットブレンド」を新発売します。
- 「じっくり焙煎」と新焙煎方法「アロマ焙煎」を組み合わせることにより、豊かなコーヒーのコクはそのままに、アロマの香り立ちをより楽しめるようにしました。



「豊かな香り」と「すっきりとしたコーヒー感」

「いまどき和膳」シリーズ 「五種の野菜と豆腐の和風ハンバーグ」

4個入 (132g)

好評発売中



- 「豆腐の風味と食感を楽しみたい」というお客様の声を反映し、国産丸大豆を使用した角切りの豆腐をたっぷりと配合。
- 「いまどき和膳シリーズ」は、「馴染みのあるメニュー」「家庭で手作りしにくいメニュー」などをテーマにした、さまざまな食シーンで利用できるシリーズです。



5種の野菜の入った素材充実のハンバーグ

株式の諸手続について

●名義書換をするには？

株式を購入されたり、保管振替制度のご利用を取り止められた時には、お早めに名義書換の手続きをお取りください。名義書換の手続きがお済みでない場合には、株主総会の招集ご通知をはじめとした各種発送物がお手元に届かないばかりでなく、配当金等のお支払いについても以前の名義の方に支払われることとなります。

◎名義書換の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本支店または野村證券(株)の本支店へ、株券と印鑑(お届出印となります)をご持参ください。その場で名義書換請求書にご記入していただき、一旦株式をお預かりして手続きをさせていただきます。手続きが終了し、お手元に株券が戻るまでには10日前後かかります。**書換手数料は不要です。**

②他の証券会社を通じて行う場合

上記以外では、証券会社でも名義書換を依頼することができます。必要なものは上記と同じですが、**書換手数料がかかります、また場合によっては手続きに時間がかかることもありますので、手数料額・所要日数等詳しくは当該証券会社におたずねください。**

③郵便をご利用の場合

名義書換請求書を郵送するなど、名義書換に郵便をご利用になることもできます。詳しくは三菱UFJ信託銀行(株)にお問い合わせください。

●住所変更をするには？

株主総会招集ご通知、郵便振替支払通知書(配当金計算書)、株主優待商品等のご登録の住所宛にお送りさせていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)へ速やかにお届出をお願いいたします。

◎住所変更の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本支店または野村證券(株)の本支店へ、お届出印をご持参ください。その場で変更届にご記入し、ご提出していただきますと、手続きをさせていただきます。手数料は不要です。

②郵便をご利用の場合

三菱UFJ信託銀行(株)にお電話いただきますと、変更届をお送りいたしますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。株券のご提出は不要です。ご返送の費用についてはご負担いただくこととなりますが、それ以外には手数料はいただきません。

●配当金の受取方法は？

①配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受取いただけます。**

現金受取をご選択の株主様には、郵便局で受取ができる証書(郵便振替支払通知書)をお送りいたしますので、お近くの郵便局でお早めにお受取ください。

口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・郵便局等の口座に配当金が直接振り込まれます。また、期末(中間)配当金計算書もお送りいたします。

②現金受取から口座振込への変更

現在、現金受取を選択されており、これから金融機関等への口座振込を希望される株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

●配当金関係の書類が届かない場合、または郵便振替支払通知書を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受取いただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

株式の諸手続きについてのお問い合わせ先は

当社株式の手続きにつきましては、下記、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)までお問い合わせください。また、同行本店及び全国各支店ならびに野村證券(株)全国本支店におきましても各種手続きのお取次ぎをいたしますのでご利用ください。なお、住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求につきましては、フリーダイヤル(0120-86-4490)で24時間承っておりますので、ご利用ください。

●お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-707-696
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
郵便物送付先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
各種手続用紙のご請求
フリーダイヤル 0120-86-4490
(三菱UFJ信託銀行(株)24時間テレホン自動音声応答サービス)

■役員(2006年6月23日現在)

取締役

取締役会長 涌井 洋治
代表取締役社長 木村 宏
代表取締役副社長 堀田 隆夫
代表取締役副社長 小幡 一衛
代表取締役副社長 熊倉 一郎
代表取締役副社長 山田 良一
取締役相談役 本田 勝彦
取締役 大久保憲朗
取締役 岩井 睦雄
取締役 新貝 康司

監査役

常勤監査役 田中 寿
常勤監査役 住川 雅明
監査役 村山 弘義
監査役 藤田 太寅

執行役員

社長
副社長 (財務責任者 兼 コンプライアンス・食品事業担当)
副社長 (企画・CSR・人事・監査担当)
副社長 (たばこ事業本部長 兼 特機事業担当)
副社長 (コミュニケーション・総務・法務担当)
常務執行役員 (たばこ事業本部 営業統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 製造統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画部長)
常務執行役員 (医薬事業部長)
常務執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)
常務執行役員 (食品事業本部長)
常務執行役員 (法務責任者)
執行役員 (たばこ事業本部 研究開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 商品グループリーダー)
執行役員 (たばこ事業本部 製品開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 原料統括部長)
執行役員 (食品事業本部 飲料事業部長)
執行役員 (食品事業本部 食品事業部長)
執行役員 (企画責任者)
執行役員 (人事責任者)
執行役員 (コミュニケーション責任者)
執行役員 (総務責任者)

木村 宏
堀田 隆夫
小幡 一衛
熊倉 一郎
山田 良一
渡邊善治郎
飯島 謙二
小泉 光臣
佐藤 誠記
大久保憲朗
石黒 繁夫
岩井 睦雄
下村 隆一
前島 宏敏
藤崎 義久
岩波 正
久野 辰也
塩澤 義介
日野三代春
古谷 貞雄
村井 良行
志水 雅一
西野 和博

■株価の推移 1994年10月27日上場～2006年10月 当社株価(東証終値,月間)

